

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 1 2 日

岩手県知事 達増拓也 殿

提出者
住 所 岩手県盛岡市下田字柴沢660番地2
氏 名 有限会社アール・フォー
代表取締役 壽文字 進
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 019-658-8472

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社アール・フォー
事業場の所在地	岩手県盛岡市下田字柴沢660番地2
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

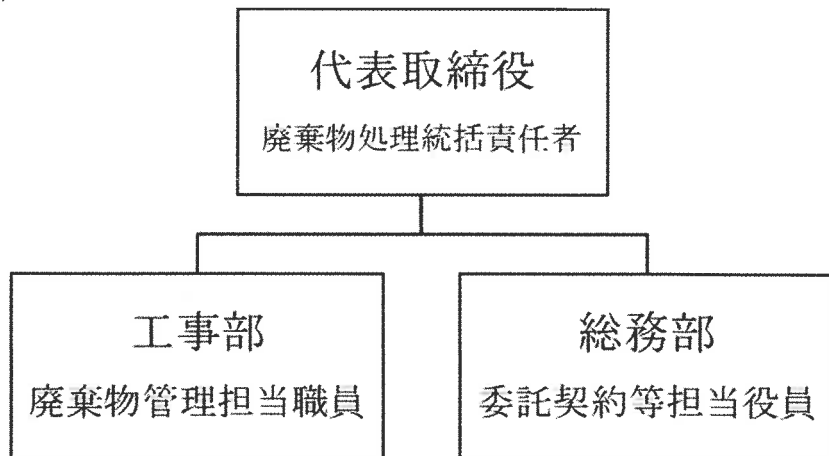
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	職別工事業
②事業の規模	元請完成工事高 10千万円
③従業員数	6人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①廃油Ⅰ→油水分離処理(再資源化) ②廃油Ⅱ→焼却処理(熱回収)→燃え殻(管理型埋立処分) ③廃プラスチック類Ⅰ→圧縮・切断処理(全量再資源化) ④廃プラスチック類Ⅱ→焼却処理(熱回収)→燃え殻(管理型埋立処分) ⑤紙くず→焼却処理(熱回収)→燃え殻(管理型埋立処分) ⑥木くずⅠ→焼却処理(熱回収)→燃え殻(管理型埋立処分) ⑦木くずⅡ→破碎処理(全量再資源化) ⑧繊維くず→焼却処理(熱回収)→燃え殻(管理型埋立処分) ⑨金属くず→圧縮・切断処理(全量再資源化) ⑩ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずⅠ→安定型埋立処分 ⑪ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずⅡ→管理型埋立処分 ⑫ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずⅢ→ 圧縮・切断処理(全量再資源化) ⑬ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずⅣ→ 破碎・選別・乾燥処理(全量再資源化) ⑭がれき類Ⅰ→破碎処理(全量再資源化) ⑮がれき類Ⅱ→安定型埋立処分 ⑯水銀使用製品産業廃棄物→破碎処理(全量再資源化) ⑰混合産業廃棄物→安定型埋立処分



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 建物等の解体工事現場において、産業廃棄物の分別を徹底した。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 建物等の解体工事現場において、更に産業廃棄物の分別を徹底する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、水銀使用製品産業廃棄物、混合産業廃棄物を確実に現場で分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も更に、上記産業廃棄物の分別を徹底し、再生利用できるものについてはリサイクルを図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は、行っていない。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら産業廃棄物の中間処理を行っていない。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の中間処理を行う予定はない。		

(第4面)

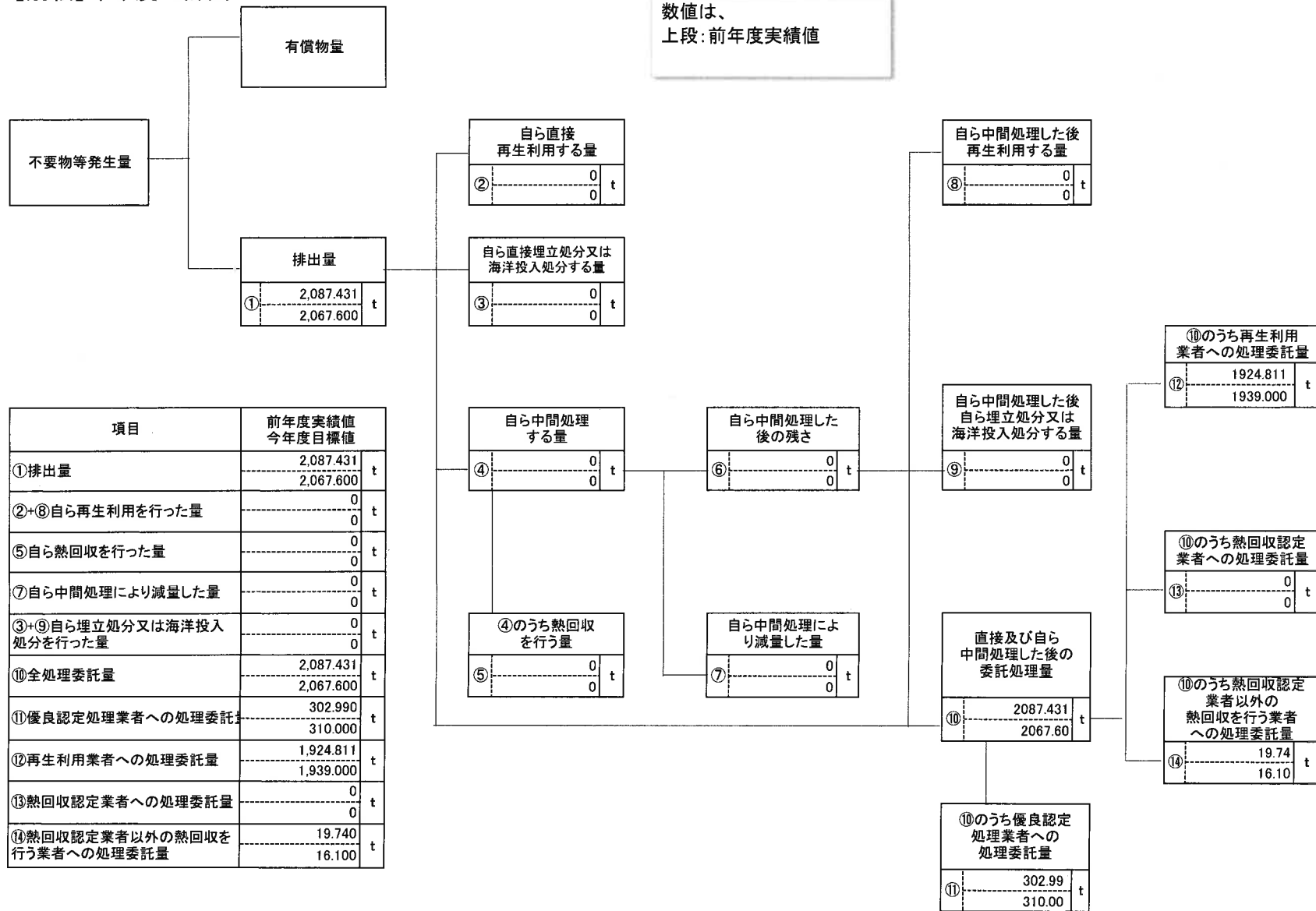
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら、産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行っていない。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の種類ごとに、再生利用できる業者を選定し、処理委託をしている。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生利用が可能である産業廃棄物については、再生利用業者又は熱回収を行う業者へ処理を委託し埋立処分量を削減する。		
※事務処理欄			

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 合計)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



)

不要物等発生量

有償物量

数値は、
上段:前年度実績値

排出量		
①	2.49	t
	2.00	

自ら直接 再生利用する量	
②	0 0 t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 0 t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0 0 t

⑨	0 0	t
---	--------	---

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量		
⑫	1.88	t
	1.90	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量		
(10)	2.49	t
	2.00	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0 0 t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量		
⑭	0.61	t
	0.10	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量		
⑪	0	t
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	2.49 2.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 0.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0.00 0.00	t
⑩全処理委託量	2.49 2.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 0.00	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.88 1.90	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.61 0.10	t

自ら中間処理 する量	
④	0 0
	t

自ら中間処理した 後の残さ		
⑥	0	t
	0	

④のうち熱回収 を行う量	
⑤	0 0 t

自ら中間処理により減量した量		
⑦	0	t
	0	

⑪	0	t
	0	

3

不要物等発生量

有償物量

数値は、
上段:前年度実績値

排出量		
①	3.38	t
	3.00	

自ら直接 再生利用する量		
②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 0 t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0 0 t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0 0	t
------------------------------------	--------	---

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	0 t
	0

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0 t
	0

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量		
⑭	3.38	t
	3.00	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	3.38 3.00 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量		
⑪	0 0	t

自ら中間処理 する量		
④	0 0	t

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	0 0

④のうち熱回収 を行う量		
⑤	0	t
	0	

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0 t

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	3.38 3.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	3.38 3.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	3.38 3.00	t

•

有償物量

排出量

$$\begin{array}{c|c} \textcircled{2} & \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \end{array} \quad t$$
$$\begin{array}{c|c} & 0 \\ \hline \textcircled{3} & 0 \end{array} \quad t$$

		0	t
⑧	-----	0	
		0	

⑨ $\begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \end{array} t$

	252.49	t
⑫	255.00	

⑬	0	t
	0	

熱回収を行う業者 への処理委託量	3.77
---------------------	------

⑩	260.26	t
	260.00	

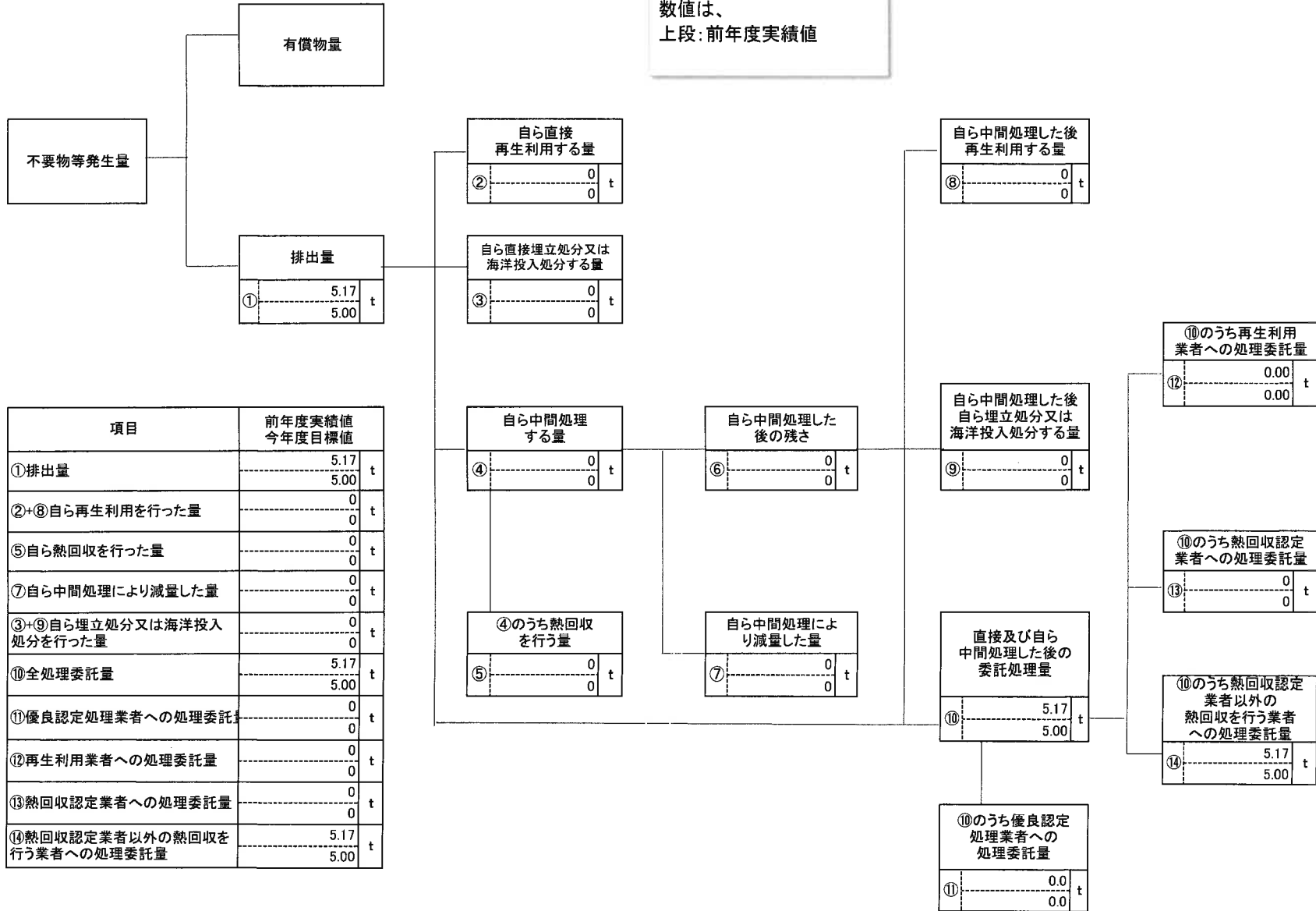
⑪	214.51	t
	220.00	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	260.26 260.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	260.26 260.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託	214.51 220.00	t
⑫再生利用業者への処理委託量	252.49 255.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	7.77 5.00	t

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

【別紙】今年度の計画

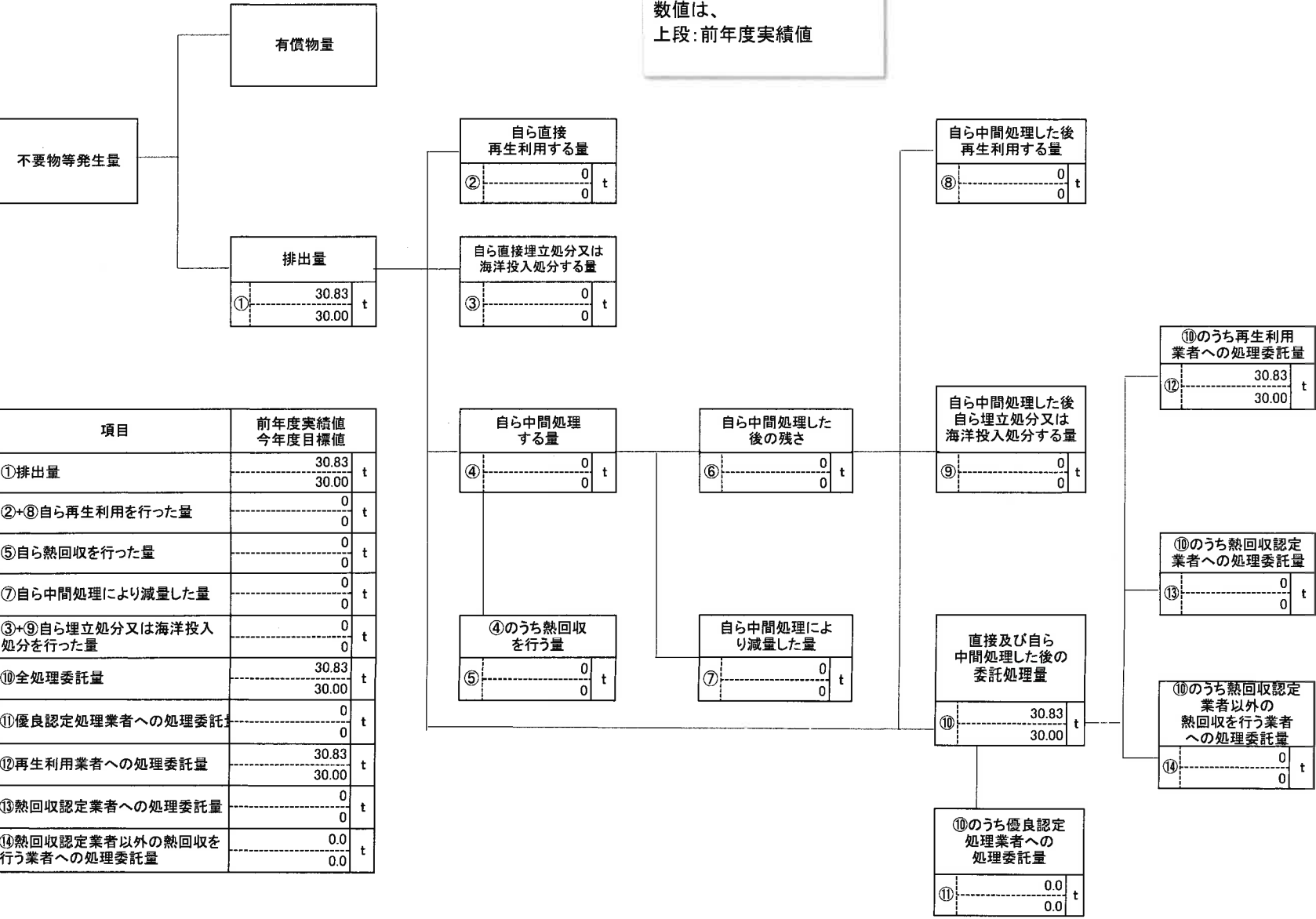
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



【別紙】今年度の計画

有償物量

排出量

$$\textcircled{2} \begin{array}{c|c} & 0 \\ \hline & 0 \end{array} t$$
$$\textcircled{3} \begin{array}{c|c} & 0 \\ \hline & 0 \end{array} t$$

⑧	0
	0

⑨	0
	0

(12)	26.78	t
	30.00	

⑬	0	t
	0	

熱回収を行う業者 への処理委託量	0
---------------------	---

⑩	88.63
---	-------

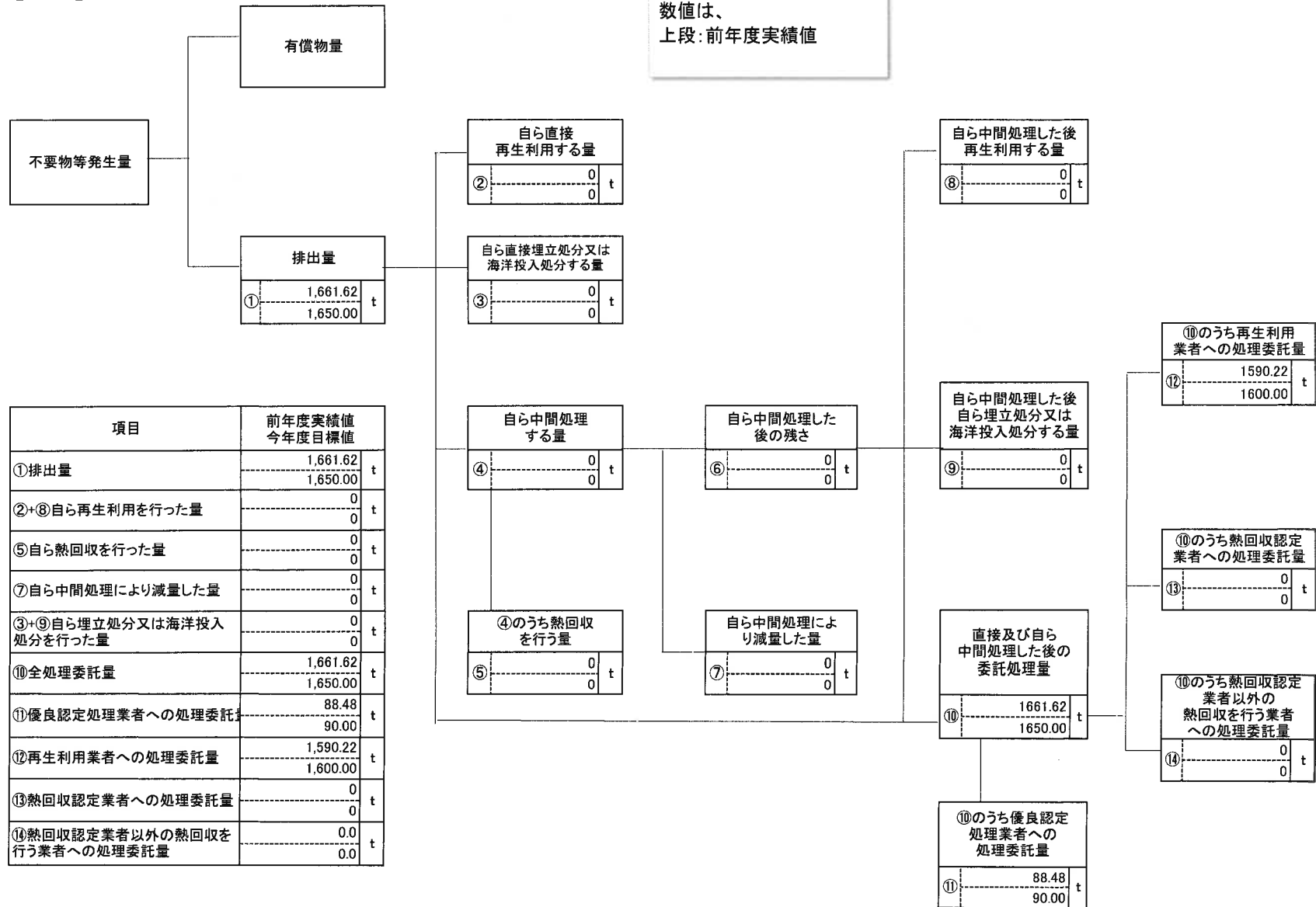
⑪	0.0	t
---	-----	---

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	88.63 85.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	88.63 85.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.78 30.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.0 0.0	t

(産業廃棄物の種類: がれき類)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

項目	前年度実績値	今年度目標値
① 排出量	0.131 t	0.100 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t
⑩ 全処理委託量	0.131 t	0.100 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.131 t	0.100 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 0.131 t
0.100 t

自ら直接再生利用する量

② 0 t
0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③ 0 t
0 t

自ら中間処理する量

④ 0 t
0 t

④のうち熱回収を行う量

⑤ 0 t
0 t

自ら中間処理した後の残さ

⑥ 0 t
0 t

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0 t
0 t

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧ 0 t
0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨ 0 t
0 t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩ 0.131 t
0.100 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0.00 t
0.00 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0.131 t
0.100 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0 t
0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0 t
0 t

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	7.99	t
	7.00	

数値は、
上段:前年度実績値

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	7.99 7.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	7.99 7.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 0.000	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 0.000	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.0 0.0	t

自ら直接 再生利用する量		
②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 t
	0

自ら中間処理 する量		
④	0 0	t

④のうち熱回収を行う量		
⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	0 0 t

自ら中間処理により減量した量		
⑦	0	t
	0	

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0
	0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0	t
⑨	0	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	7.99
	7.00

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	0.00
	0.00

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	0.000
	0.000

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0
	0

(産業廃棄物の種類: 混合産業廃棄物)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値

項目	前年度実績値	今年度計画値	単位
① 排出量	1.00	0.50	t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩ 全処理委託量	1.00	0.50	t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	t

項目	前年度実績値	今年度計画値	単位
② 自ら直接再生利用する量	0	0	t
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	0	0	t
④ 自ら中間処理する量	0	0	t
⑥ 自ら中間処理した後の残さ	0	0	t
⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量	0	0	t
⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分する量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
⑤ ④のうち熱回収を行う量	0	0	t
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	1.0	0.5	t
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	t
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	t
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。